

岡山県感染症週報

2011 年 第 32 週 (8 月 8 日 ~ 8 月 14 日)

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。**◆2011 年 第 32 週 (8/8 ~ 8/14) の感染症発生動向 (届出数)****■全数把握感染症の発生状況**

第 30 週 2 類感染症 結核 6 名 (30 代 女 1 名、40 代 女 1 名、60 代 男 2 名、70 代 女 1 名、80 代 男 1 名)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 名
(O157 20 代 女 1 名、O26 幼児 女 1 名)

第 31 週 5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名 (20 代 男)

第 32 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 (O26 小学生 女 1 名) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○ヘルパンギーナは、全県では先週より減少しました。地域別では、備中地域で発生が増加し、岡山市では減少はしたもののひきつづき感染症発生レベル3 が継続中です。

○手足口病は、第 26 週をピークに今週も減少し、全県レベルは約 2 ヶ月ぶりに感染症発生レベル 1 になりました。

1. 腸管出血性大腸菌感染症は、今年 8 月 17 日までに 42 名の発生がありました。

例年 8 月は 1 年で最も発生が多くなりますので、特に感染予防に努めてください。O 血清群別では、O26 が 42% (18 件)、O157 が 38% (16 件) と、今年も O26 の発生が目立ちます。岡山県では**腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令**し、感染予防を呼びかけています。県内の発生状況・症状・感染予防などについては、感染症情報センターホームページ [『腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!』](#) をご覧下さい。

2. ヘルパンギーナの定点あたり患者数は、全県では減少し (定点あたり 3.19 → 2.39 人)、第 28 週をピークに 4 週連続で減少しました。地域別では、ほとんどの地域で減少しましたが、備中地域では発生が増えました (2.29 → 3.86 人)。岡山市では減少はしたものの (6.07 → 3.57 人) 依然として大きな流行または発生が継続しつつあると考えられる感染症発生レベル 3 がつづいています。

3. 手足口病の定点あたり患者数は、今週も減少しました (定点あたり 2.11 → 1.52 人)。6 月上旬から全県で継続していた感染症発生レベル 3 は約 2 ヶ月ぶりにレベル 1 になりました。また、地域別に見ても、県内全ての地域でレベル 1 になりました。

手足口病、ヘルパンギーナの今週の動向については、『**今週の注目感染症**』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★★	流行性耳下腺炎		★★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		★★★
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		★

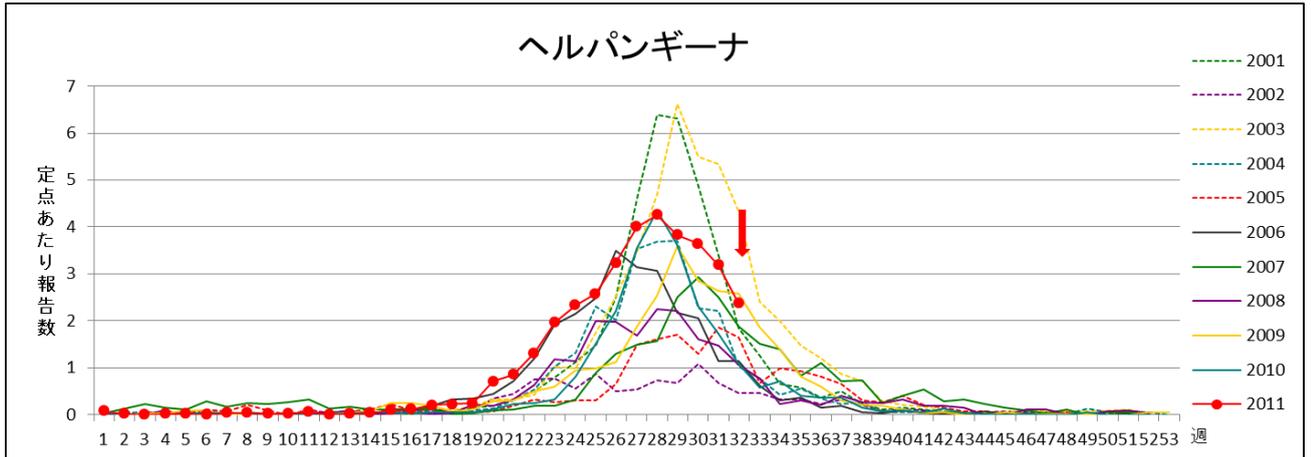
【記号の説明】

前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↘ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い
 ※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. ヘルパンギーナ



ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数は、全県では減少しました（172 → 129人 定点あたり 3.19 → 2.39人）。地域別では、ほとんどに地域で減少しましたが、備中地域では発生が増えました（2.29 → 3.86人）。岡山市では減少はしたものの（6.07 → 3.57人）、感染症発生レベル3が継続しています。

ヘルパンギーナは、7月上旬に流行がピークとなり、その後減少に向かいますが、今年は8月上旬としては、いまだ患者数が多い状態です。

ヘルパンギーナは、夏に流行する幼児の急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。患者の年齢は3歳以下の幼児が中心で、全体の70%を占めています。岡山県ではヘルパンギーナ患者の咽頭拭い液から、**コクサッキーウイルスA6型**が検出されています。



感染症マップ ヘルパンギーナ 2011年32週

ヘルパンギーナ

レベル		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
6	2		0<6未満	0

32週 8/8～

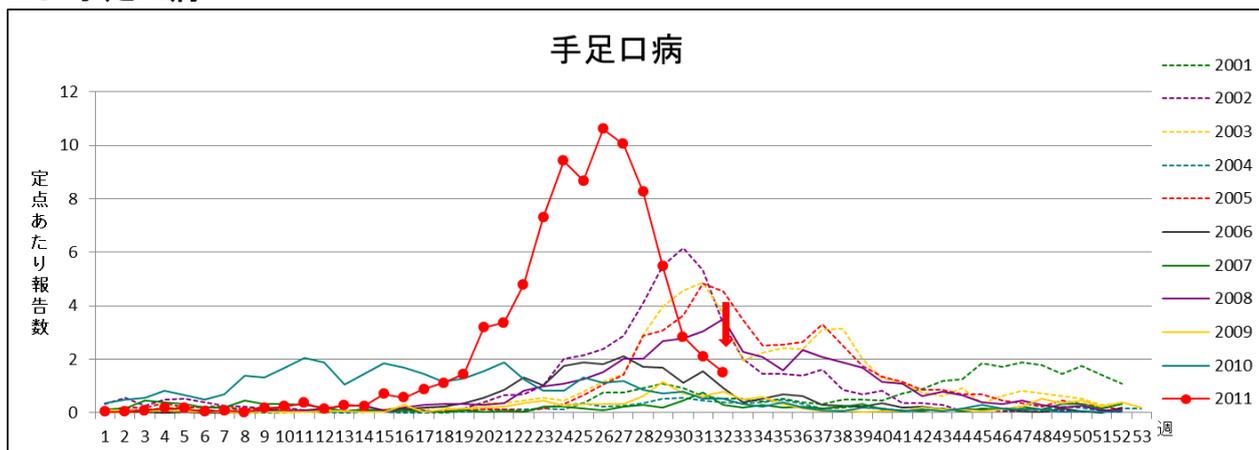
31週 8/1～

30週 7/25～

29週 7/18～



2. 手足口病



手足口病の定点あたり患者数は、今週も減少しました（114 → 82人 定点あたり2.11 → 1.52人）。6月上旬から、全県で大きな流行を示すレベル3がつづいていましたが、今週、レベル3の終息基準値2人を下まわり、約2ヶ月ぶりにレベル1になりました。また、地域別に見ても県内全ての地域でレベル1になり、流行は終息に向かっています。患者は1歳代が一番多く、3歳以下が75%を占めています。

患者発生は多いものの岡山県ではこれまでのところ、無菌性髄膜炎・脳炎などを合併した重症例の報告はありません。

岡山県では手足口病患者の咽頭拭い液から、**コクサッキーウイルスA6型**が検出されました。全国的にも手足口病患者から主に、コクサッキーウイルスA6型が検出されています。

国立感染症研究所より、手足口病に続発する爪甲脱落症への注意喚起がされています。コクサッキーウイルスA6型の感染によって手足口病を発症し、治癒してから数週間経過した後に、爪甲脱落症（爪甲が爪床から浮き上がって剥離・脱落する病气）が疑われる症例が報告されており、今後、手足口病の流行が終息した後も、注意する必要があります。

（[国立感染症研究所 感染症情報センター 週報第28週（全国版）](#)）

感染症マップ 手足口病 2011年32週

32週 8/8～

31週 8/1～

30週 7/25～

29週 7/18～



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
5	2		0 < 5未満	0

全国の手足口病、ヘルパンギーナ患者からの検出ウイルスについては、**国立感染症研究所 感染症情報センター 病原微生物検出情報** をご覧ください。

今年のコクサッキーウイルスA6型検出状況 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-tj.html>

2007-2011の手足口病からの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data37j.pdf>

2007-2011のヘルパンギーナからの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data38j.pdf>

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています

保健所別報告患者数 2011年 32週 (2011/08/08～2011/08/14)

2011年8月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	5	0.09	-	-	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	3	0.50
咽頭結膜熱	30	0.56	14	1.00	2	0.18	-	-	-	-	3	0.75	-	-	11	1.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.43	3	0.21	10	0.91	-	-	2	0.29	-	-	1	0.50	7	1.17
感染性胃腸炎	170	3.15	28	2.00	41	3.73	42	4.20	12	1.71	6	1.50	9	4.50	32	5.33
水痘	24	0.44	9	0.64	8	0.73	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
手足口病	82	1.52	27	1.93	17	1.55	12	1.20	13	1.86	6	1.50	2	1.00	5	0.83
伝染性紅斑	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	36	0.67	15	1.07	9	0.82	3	0.30	3	0.43	-	-	1	0.50	5	0.83
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	129	2.39	50	3.57	32	2.91	8	0.80	27	3.86	2	0.50	-	-	10	1.67
流行性耳下腺炎	64	1.19	7	0.50	28	2.55	6	0.60	19	2.71	2	0.50	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	0.75	3	0.60	3	0.75	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	1.00	1	1.00	4	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 32週 (2011/08/08～2011/08/14)

2011年8月22日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	30	0.56	14	1.00	2	0.18	-	-	-	-	3	0.75	-	-	11	1.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.43	3	0.21	10	0.91	-	-	2	0.29	-	-	1	0.50	7	1.17
感染性胃腸炎	170	3.15	28	2.00	41	3.73	42	4.20	12	1.71	6	1.50	9	4.50	32	5.33
水痘	24	0.44	9	0.64	8	0.73	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
手足口病	82	1.52	27	1.93	17	1.55	12	1.20	13	1.86	6	1.50	2	1.00	5	0.83
伝染性紅斑	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	129	2.39	50	3.57	32	2.91	8	0.80	27	3.86	2	0.50	-	-	10	1.67
流行性耳下腺炎	64	1.19	7	0.50	28	2.55	6	0.60	19	2.71	2	0.50	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	0.75	3	0.60	3	0.75	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第32週 2011/08/08～2011/08/14)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	5	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	30	1	-	5	5	6	3	4	1	2	1	-	1	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	-	2	2	1	2	3	1	5	2	2	-	2	-	1
感染性胃腸炎	170	2	25	31	16	12	15	19	6	6	3	2	13	2	18
水痘	24	-	2	5	5	5	4	1	-	1	-	-	1	-	-
手足口病	82	3	12	23	15	9	4	6	4	2	-	1	2	-	1
伝染性紅斑	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
突発性発疹	36	2	22	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	129	2	11	36	23	23	15	6	3	1	2	2	4	1	-
流行性耳下腺炎	64	-	-	12	5	6	7	13	8	3	3	1	5	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	4	1	-	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

(- : 0)

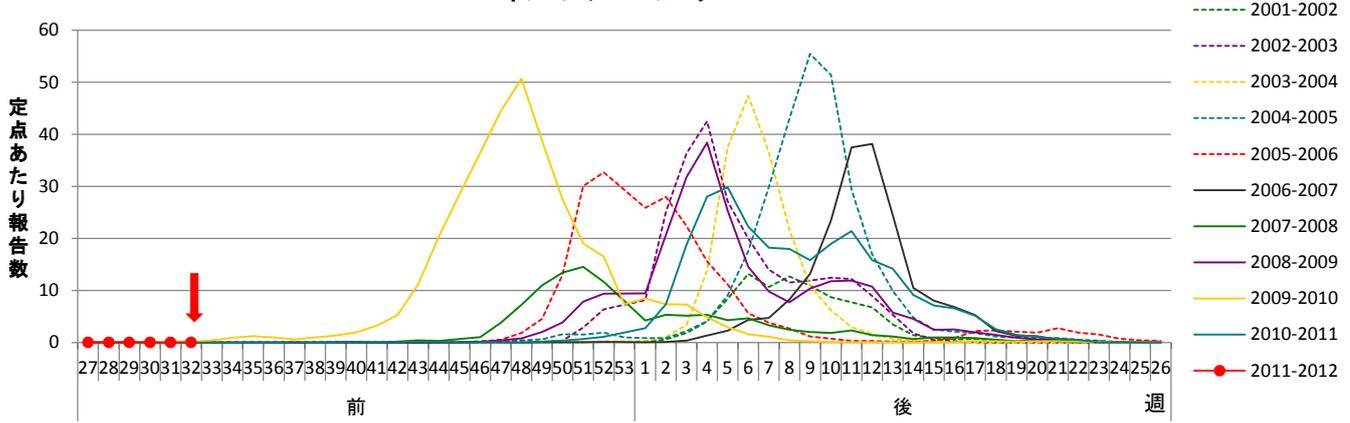
全数把握 感染症患者発生状況

2011年 32週

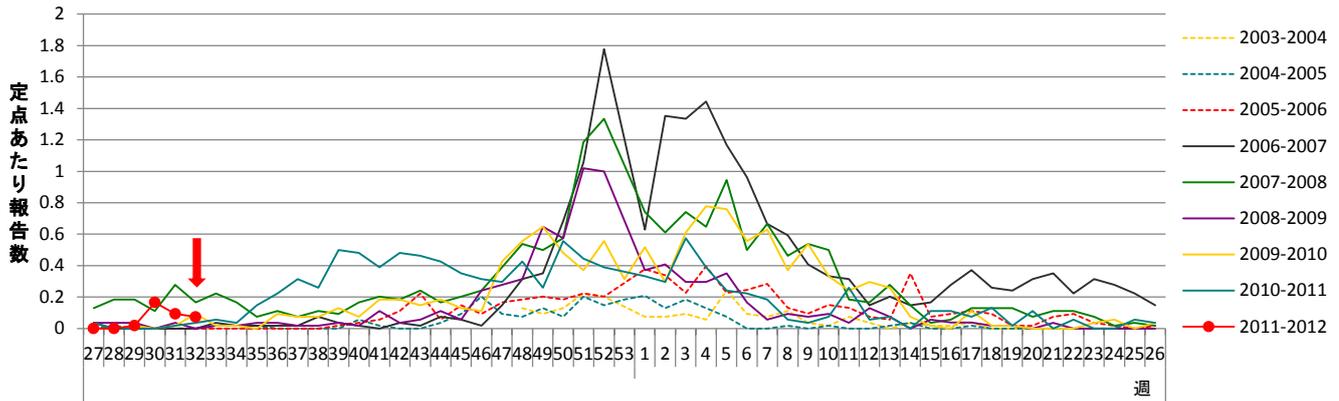
分類	疾病名	2011			疾病名	2011			疾病名	2011		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	302	352	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	35	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	2	2
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	1	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	1	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	11	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	7	13	ウイルス性肝炎*3	-	5	7	急性脳炎*4	-	1	1
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
	後天性免疫不全症候群	-	7	22	ジアルジア症	-	2	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	7	9	破傷風	-	1	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	-	2
	麻しん	-	4	3		-	-	-		-	-	-

今週は岡山市から全数把握対象感染症患者数の報告があったため、累計が大きく増加しているところがあります。
岡山市からの報告は、1ヶ月に1回累計されます。

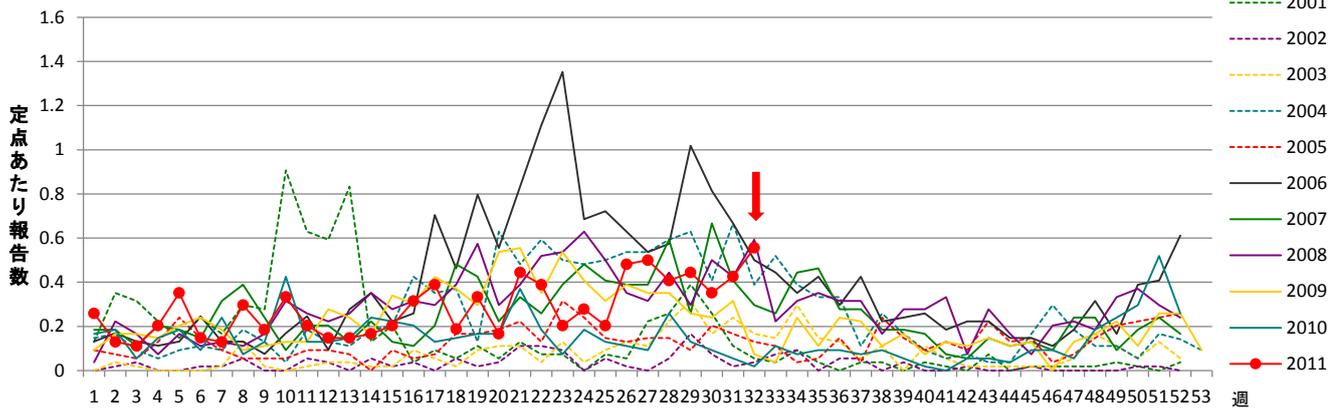
インフルエンザ



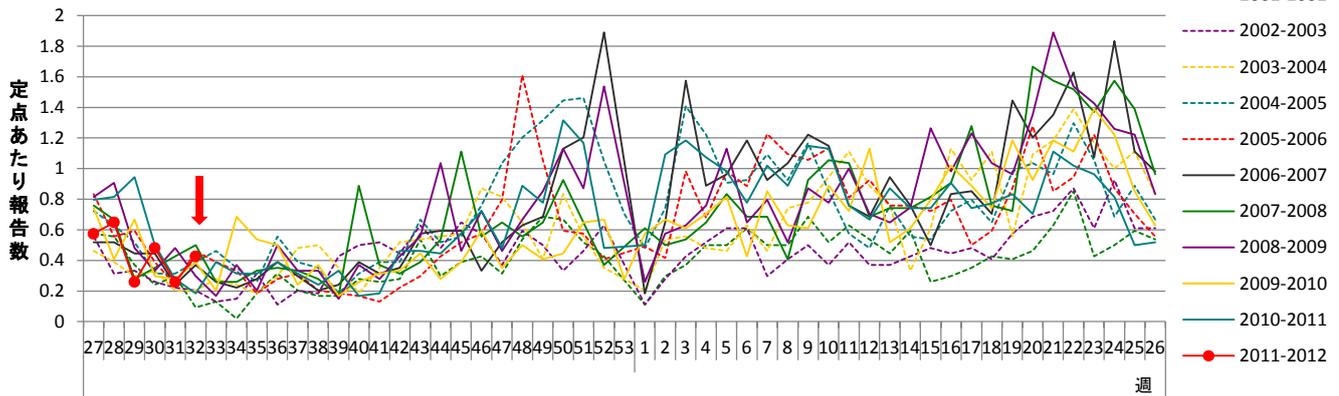
RSウイルス感染症



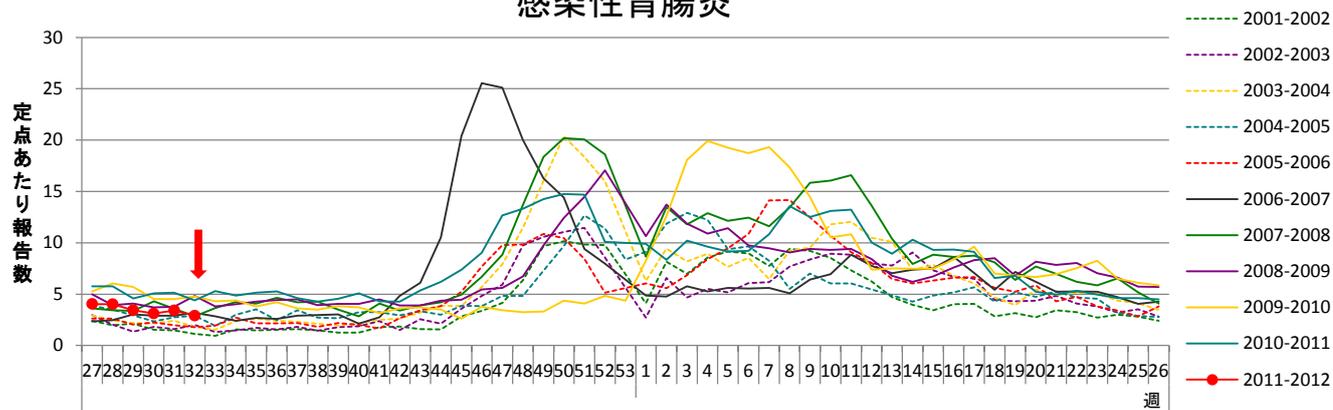
咽頭結膜熱



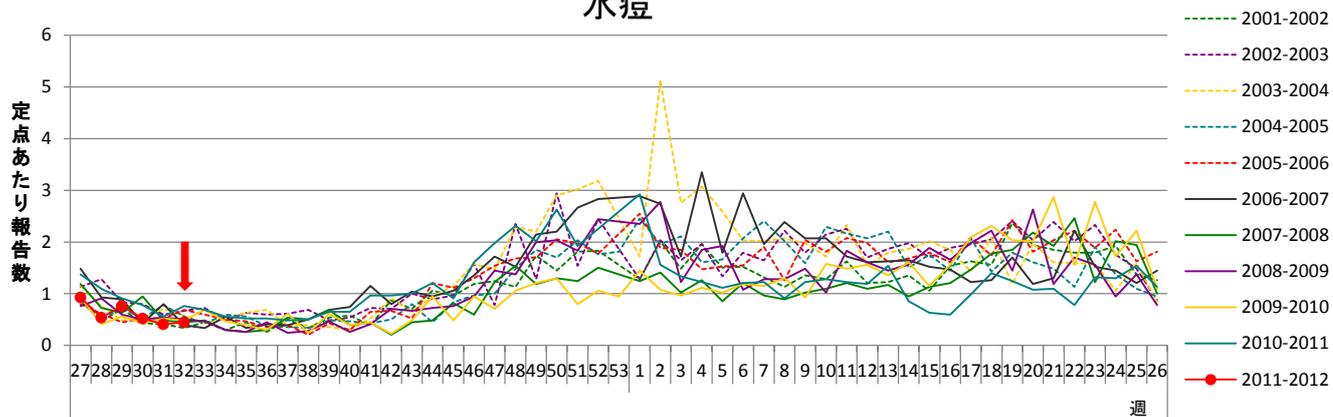
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



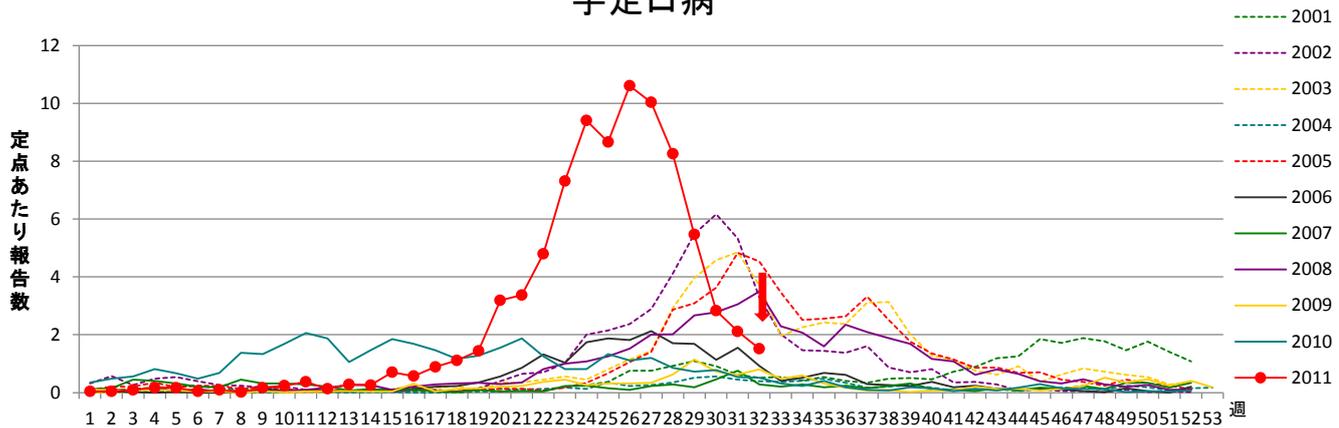
感染性胃腸炎



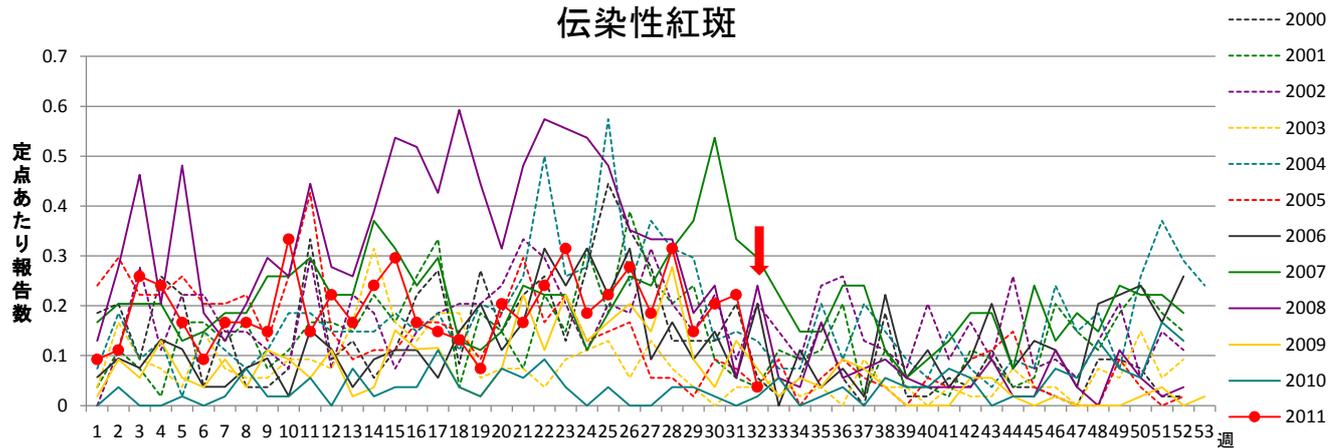
水痘



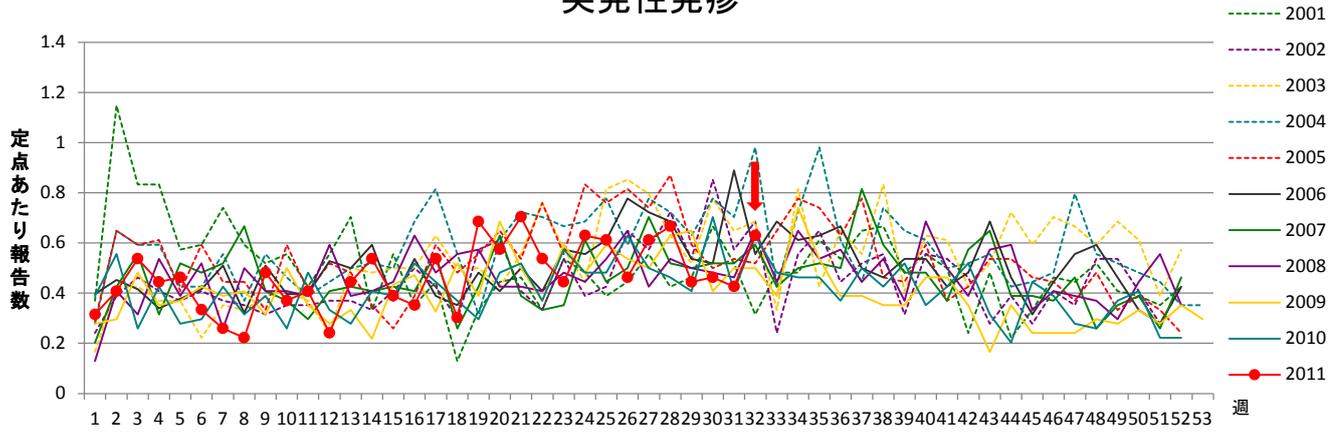
手足口病



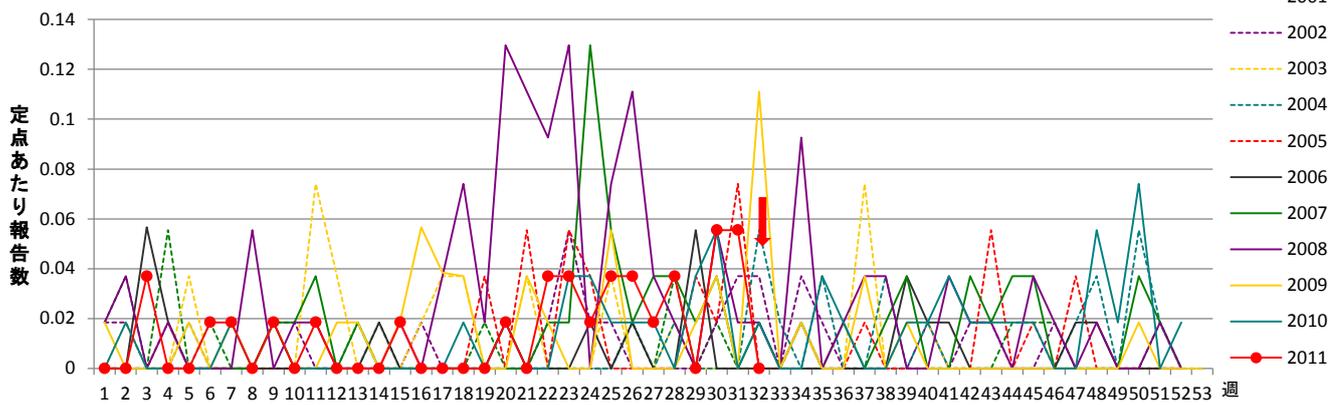
伝染性紅斑



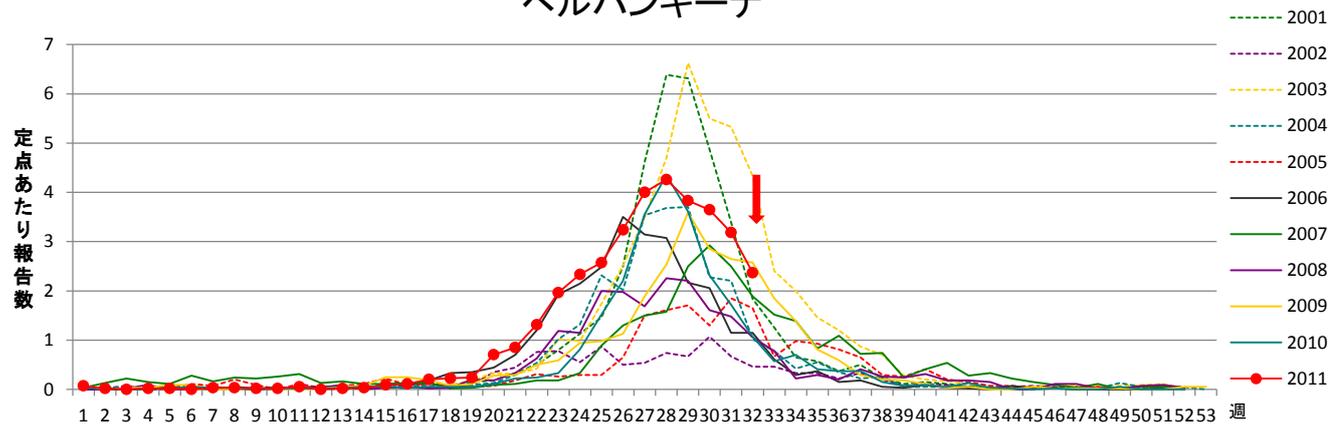
突発性発疹



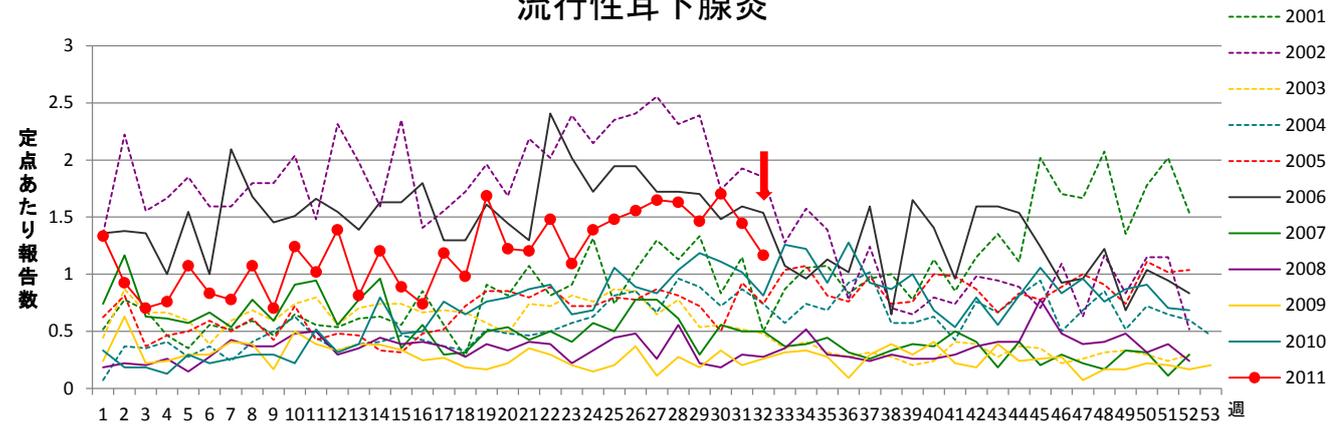
百日咳



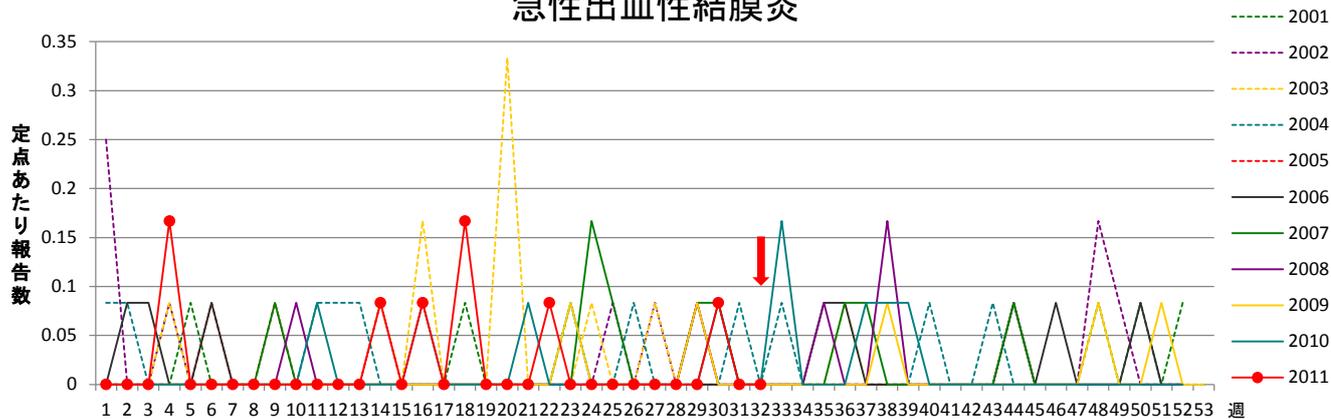
ヘルパンギーナ



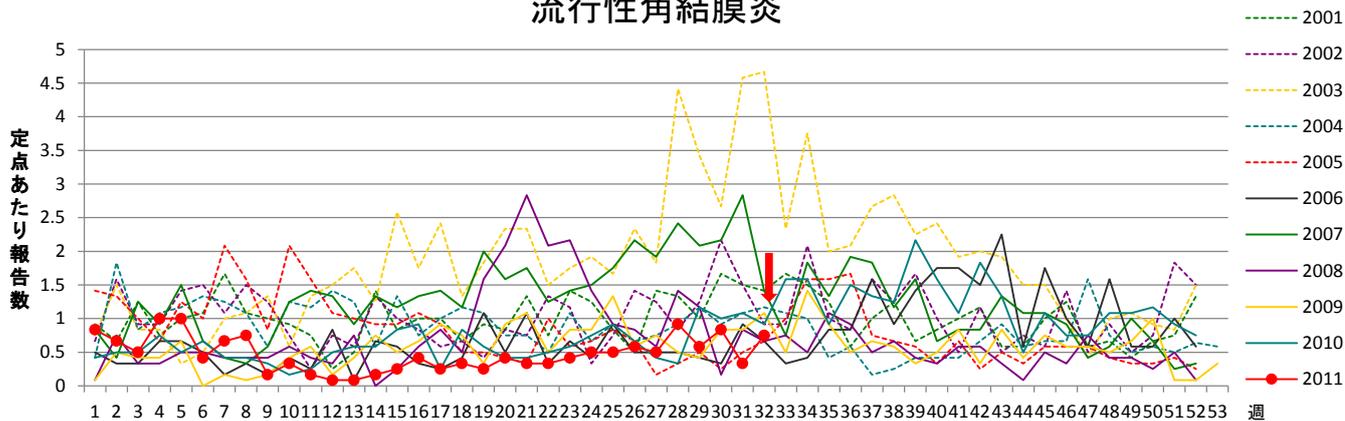
流行性耳下腺炎



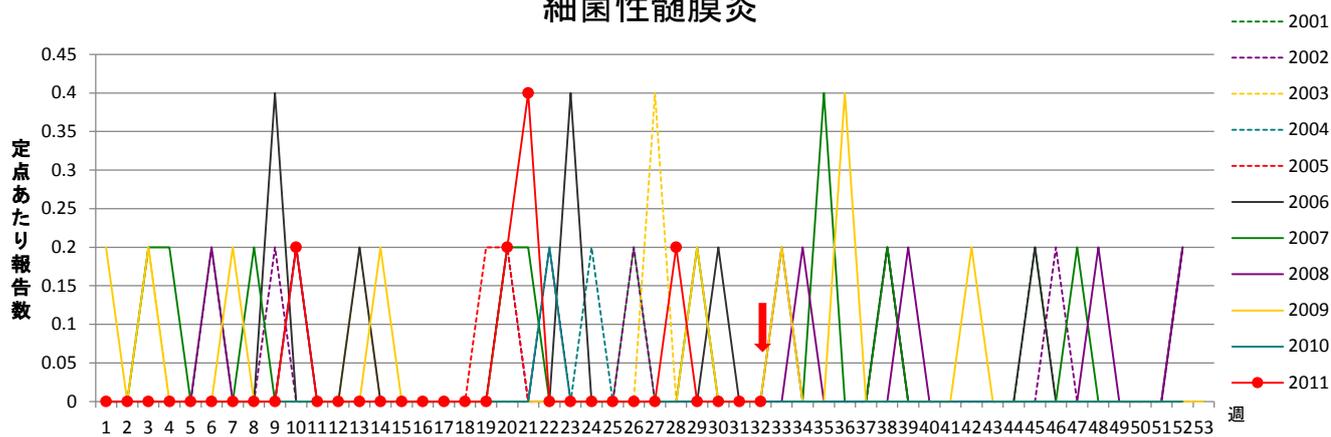
急性出血性結膜炎



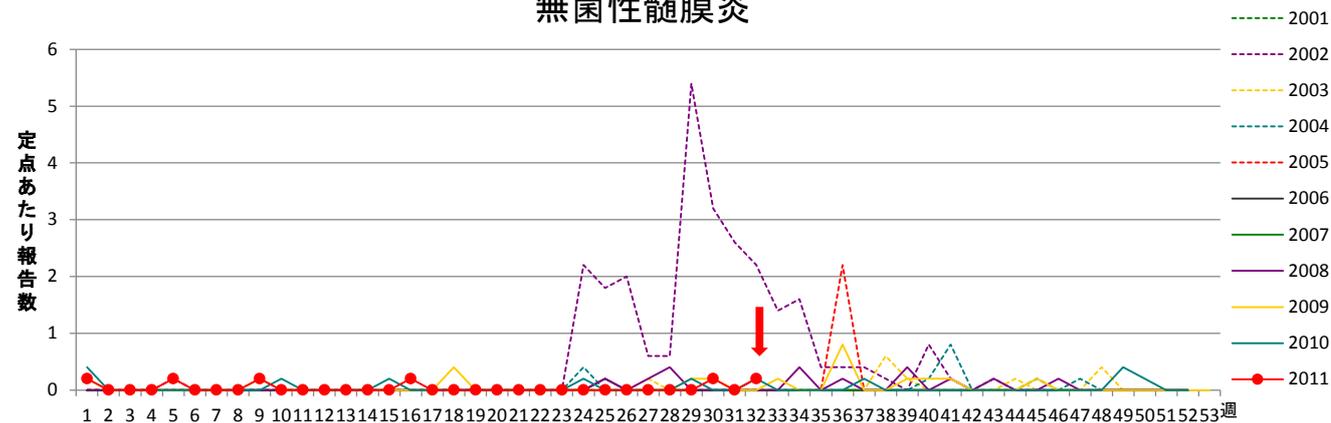
流行性角結膜炎



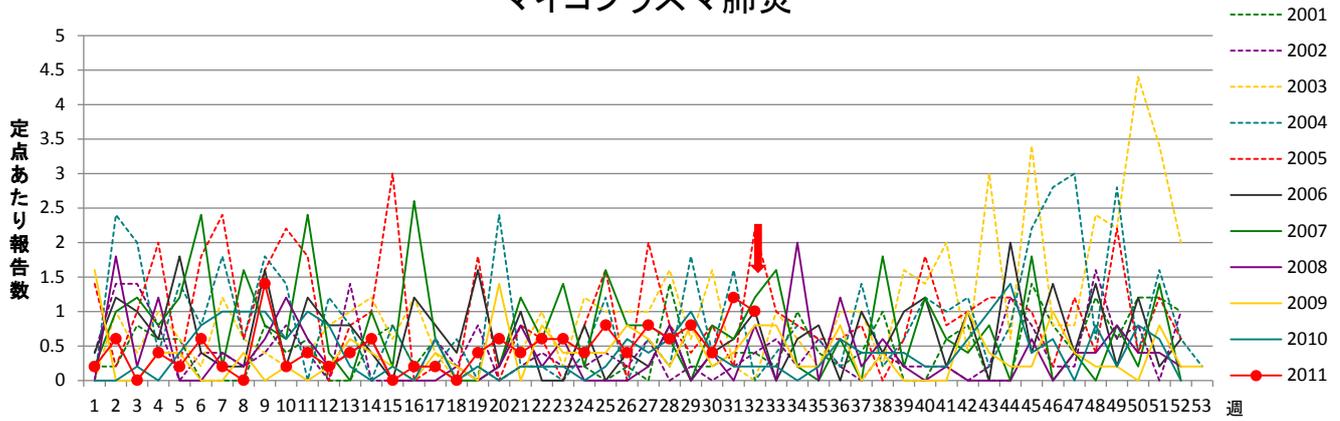
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

